

令和6年度 校長より ⑮

11月からは運動部の新人大会が目白押しで行われ、次々と好成績の知らせが学校に届きました。県大会では、ウエイトリフティング部の男子2年1名が関東選抜大会出場、剣道部女子団体の部で5位入賞、男子個人の部で5位入賞、女子個人の部で5位入賞、弓道部男子団体の部で7位入賞、卓球部女子学校対抗の部で8位入賞となりました。地区大会では、男子バレーボール部がブロック優勝、女子バスケットボール部も優勝、陸上競技部は各種目において優勝を含めて多数入賞となりました。また、文化部のコンクールでは、写真部が県高写連主催写真コンテストで特選入賞、新聞委員会が県中高新聞コンクールで努力賞受賞、文芸部が県文芸部誌コンクールで高文連会長賞受賞となりました。そのほかの部等でも多数の活躍があったことと思います。一部の部活動等が全国大会や関東大会に出場することも大切ですが、多くの部活動が地区大会や県大会などで活躍することの方が学校にとっては大切であると思います。生徒の皆さんには、本校を背負う気持ちでこれからも部活動等に頑張ってもらいたいと思っています。

本校が、富士工業(株)、東京大学と産学共同研究として行ってきた、修学環境における適正な空気質管理に関する研究の研究結果が発表されました。これは、安全安心で快適な学習環境を生徒に提供することを目的に、2022年度より1年2組の教室における温度、湿度、CO<sub>2</sub>濃度の状態を3種類の換気状態により実験し、それぞれの効果を比較したものです。研究結果では、教室の対角の窓を休み時間ごとに最大10分開けることによる有効性が認められました。今後の研究によっては、生徒の集中力や学習効率、健康度が高まることなどが明らかにされる可能性もあります。この研究結果を活かしながら、生徒たちが日々効率的な学習に取り組めるように、教室の学習環境を整えてまいりたいと思います。研究の詳細については、後日HPに掲載しますので、どうぞご覧ください。

今年度は、湘南助産師会から2名の講師にご来校いただきました。12月12日(木)には、2年生を対象に「いのちの安全教育」を実施しました。本校では日頃から性問題が表面化している訳ではありませんが、近年、性暴力が社会的問題となっていることなどを踏まえ、生徒たちが男女やパートナーとの性に関する理解を深め、将来にわたって互いに尊重し合える関係性を築くことができるようになるよう、性加害・性被害の防止や性的同意をテーマとした講演会を開催しています。こうした機会を通じて、生徒たちには、いのちの大切さや人の存在の尊さを学んでほしいと思います。

令和6年12月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆